

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公表番号】特表2002-532867(P2002-532867A)

【公表日】平成14年10月2日(2002.10.2)

【出願番号】特願2000-589009(P2000-589009)

【国際特許分類】

H 05 B 41/282 (2006.01)

H 05 B 41/24 (2006.01)

【F I】

H 05 B 41/29 C

H 05 B 41/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月1日(2006.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

点灯中に陰極フェーズにある電極を持つ高圧放電ランプを点灯する回路装置であって、  
- 供給電圧源に接続する入力端子と、  
- 前記高圧放電ランプを接続する出力端子と、  
- 前記入力端子に結合され、双極性の連続する期間を持つ交流ランプ電流を前記高圧放電ランプに供給する手段とを有し、該ランプ電流は期間毎に平均値  $I_m$  を持つ回路装置であり、

前記ランプ電流が、各期間の開始において、陰極フェーズの電極に対する安定した拡散的アタックを許容するように、前記平均値  $I_m$  に対して低いことを特徴とする回路装置。

【請求項2】

期間毎に前記ランプ電流が平均値  $I_m$  を有し、該期間の第1部分にわたって、より低い平均値  $I_e$  を有し、該期間の第2部分にわたって、 $I_m$  より大きい平均電流  $I_2$  を有することを特徴とする請求項1記載の回路装置。

【請求項3】

前記期間は、継続時間  $t_p$  を有し、該期間の前記第1部分は、 $0.05 \leq t_1 / t_p \leq 0.85$  の関係を満たす継続時間  $t_1$  を有することを特徴とする請求項2記載の回路装置。

【請求項4】

$0.3 \leq I_e / I_m \leq 0.9$  であることを特徴とする請求項2又は3記載の回路装置。

【請求項5】

前記期間の開始における電流が  $I_e$  よりも高いことを特徴とする請求項2, 3又は4記載の回路装置。

【請求項6】

前記ランプ電流に、前記期間の終わりにおいて同一極性の、関係  $I_3 > I_2 \geq I_m$  を満たす値  $I_3$  を持つパルスが設けられることを特徴とする請求項1乃至5の何れか一項に記載の回路装置。